

CONTENTS

● 一般社団法人音楽電子事業協会第10回通常総会報告/新役員紹介	1
● 令和3年度役員名簿・組織図	2
● 令和3年度事業計画 委員会活動(案)	3~4
● 著作権・ソフト委員会報告	5~6
● AMEI会員名簿・第10回通常総会議事録の開示報告	7

一般社団法人音楽電子事業協会 第10回通常総会報告

令和3年度も、昨年からつづく新型コロナウイルスの感染拡大による移動制限等に対応する為、理事会・幹事会・第10回総会について、メール審議にて実施することと致しました。

令和2年度第3回理事会/第2回幹事会につきましては、令和3年3月22日に理事会議案書及び幹事会議案書を、事前にメールにて配布し、第1号議案 令和2年度 事業報告、第2号議案 令和2年度 収支決算(着地見込)、第3号議案 事業計画(案)、第4号議案 収支予算(案)、第5号議案 令和3年度役員選任(案)につきまして、3月30日までに理事・幹事全員より承認を頂き、メール審議を終了。令和3年度第10回通常総会に答申することが承認されました。

また、5月12日に発出された「新型コロナウイルス緊急事態宣言の期間延長」を受けて、令和3年度第1回理事会・幹事会及び第10回通常総会についても、メール審議にて実施することとし、令和3年度第1回理事会/幹事会につきましては、令和3年5月10日に理事会・幹事会議案書をメールにて配布、5月14日までに承認を頂き、5月17日第10回総会議案書をメールにて配信/5月21日までに過半数の承認を頂きました。また今期は、会長の交代と、副会長の交代があり、山浦新会長及び渡邊新副会長にご挨拶を頂きましたので、掲載させていただきます。

AMEI会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る5月にメール審議の形式で開催された第10回総会においてご承認をいただき、伊藤公保前会長の後を受けて会長を務めさせていただくこととなりました。

この紙面をお借りして、会員の皆様、そして平素よりAMEIをご支援くださっている皆様方にご挨拶申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症についてはわが国でも変異種の感染拡大が見られる等、依然として予断を許さぬ日々が続いております。被害を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、感染拡大防止にご尽力されている医療従事者の皆さまに心より感謝申し上げます。一方で、この新型コロナウイルス感染症への対策として様々な分野でIT活用が加速し、それに伴い私たちの仕事や生活のスタイルも大きく様変わりしました。当協会においても、昨年に引き続き理事会/総会をはじめすべての委員会やMIDI検定についてもオンラインにて実施いたしました。リモート会議の例を挙げるまでもなく、ソーシャルディスタンスを確保する中で人と人をつなぐ新しい技術やサービスには高い注目が集まっています。人々と音楽との付き合い方についても例外ではありません。音楽の楽しみ方がより多様になる一方で、ネットワークを通じて楽器やコンピュータをつないでいくこと(=演奏者や製作者をつないでいくこと)の価値はこれまで以上に高まり、それはポストコロナのニューノーマルの世界においても継続していくものと考えられます。

このように我々の事業を取り巻く環境は急速に変化しています。新しい音楽のあり方に寄り添ったMIDI規格の進化や知的財産権のあり方の追及等、AMEIが果たすべき社会的な役割もいよいよ高まっているということができましよう。環境変化に柔軟かつ迅速に対応すべく、会員の皆様方からも新たに取り組むべきテーマの提示をいただきながら、協会全体で業界の発展と課題の解決にあたっていきたくと思います。

これまで電子楽器の開発や新規事業開拓に携わる中でMIDIやコンテンツとは長く関わって参りました。しかしAMEI会員の皆様の専門性や幅広い領域を到底カバーできるものではなく、まずは皆様のご協力をいただき、またお知恵を拝借しながら一日も早く当協会の活動と発展に貢献できるよう尽力していきたいと思っています。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます、簡単ではございますが就任のご挨拶とさせていただきます。



山浦 敦 新会長

2021年5月21日の第10回通常総会、その後の臨時理事会にて、前任の和田に代わり、当協会の理事・副会長に就任いたしました渡邊と申します。

昨年来、長期化しているコロナ禍、また、長雨による甚大な被害と世の中に暗い空気が立ち込めている感を強く感じておりますが、まずは罹患・被害にあわれた方々を思い、一日も早い身体的・精神的な回復を心よりお祈り申し上げます。

過去の歴史を振り返ってみても自然災害や想像を絶する危機からも人類は立ち上がり、現在の繁栄を築いてきました。まさに「明けない夜」がないように明るい未来はそこにあると思います。その未来は我々が思い描き築いていくものです。我々の世界なのです。大言壮語を言うわけではありません。日々のたゆまぬ努力の結果が振り返ったときに確かな道が築かれているものと信じております。弊社及び弊社グループは、主幹事業である業務用通信カラオケやインタラクティブ音楽配信サービスを、これまで以上に時代の変化に沿ったサービスとして提供すべく努めてまいります。その根源は「音楽」です。どんな環境下に置かれても、我々の横には音楽が寄り添っているのではないのでしょうか。嬉しいときも、哀しいときも我々は歌を口ずさんでいるのではないのでしょうか。当協会会員の皆様が、時代の変化に対応して、人に「音楽」を届けることや人と「音楽」が触れ合う機会を提供されるにあたって、それを健全に実現できる環境を構築することは、当協会の設立目的に沿うものであり、その目的達成のために微力ではございますが、頑張りたいと思います。ご指導、ご鞭撻のほど宜しく申し上げます。



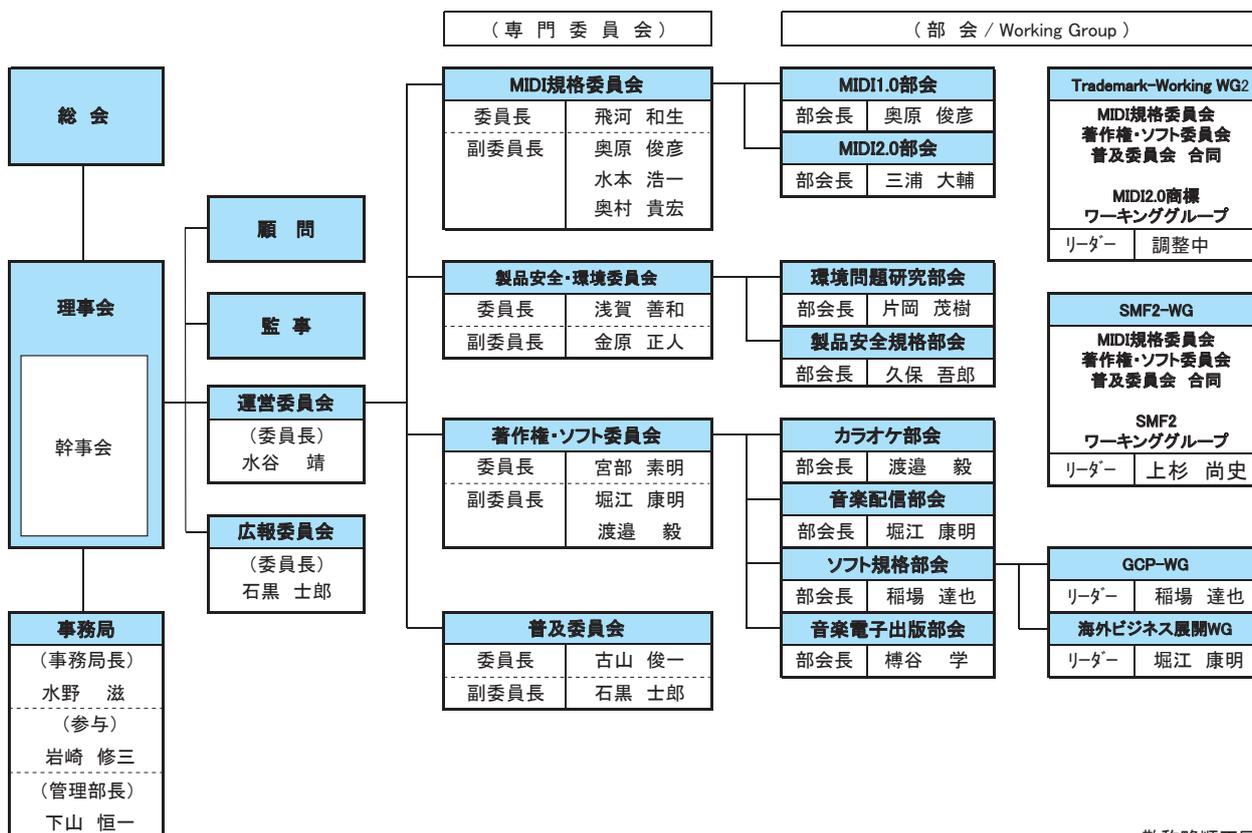
渡邊 泰人 新副会長

令和3年度 一般社団法人音楽電子事業協会役員名簿

理事会 幹事会役職	氏名	会社名	役職
会 長	山浦 敦	ヤマハ株式会社	執行役員
副 会 長	佐々木 隆一	株式会社ぶらあぼホールディングス	代表取締役
◇	水本 浩一	ローランド株式会社	執行役員
◇	渡邊 泰人	株式会社第一興商	常務執行役員
専務理事	水野 滋	一般社団法人 音楽電子事業協会	専務理事
常務理事	水谷 靖	株式会社エクシング	代表取締役社長
理 事	伊東 智子	株式会社コルグ	取締役
◇	中西 正人	株式会社フェイス	専務取締役
◇	林 龍太郎	カシオ計算機株式会社	開発本部 第一開発統轄部 第三開発部長
◇	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社	代表取締役
幹 事	倉持 貴志	株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	出版部制作部長
◇	白壁 依里	Apple Japan 合同会社	政務部部长
◇	鈴木 周司	株式会社鈴木楽器製作所	取締役
◇	辻 浩己	学校法人 尚美学園	法人本部長
◇	箕輪 匡文	株式会社河合楽器製作所	取締役
◇	村上 昇	株式会社インターネット	代表取締役
監 事	三木 康司	株式会社シーミュージック	代表取締役
◇	古山 俊一	尚美学園大学	名誉教授
顧 問	日吉 昭夫		

* 敬称略・50音順（常勤役員は専務理事のみ、他の役員は非常勤です。）

令和3年度 組織図 一般社団法人音楽電子事業協会



* 敬称略順不同

一般社団法人音楽電子事業協会 令和3年度事業計画 委員会活動(案)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 全体

以下各委員会活動は、定款(事業)第4条の各項に準ずるものとする。

2 製品安全・環境委員会

活動方針

製品安全規格・環境問題研究両部会での情報交換と、各法規制からの要求事項に対する解釈のレベル合わせのための活動を継続し、電子電気楽器及び関連機器製品の安全性確保と環境問題への対応推進を図る。

事業計画

「製品安全規格部会」: 4月、7月、10月、1月
計4回開催を予定。

「環境問題研究部会」: 4月、7月、10月、1月
計4回原則第2火曜日開催を予定。

オンライン開催の可能性有り。

活動テーマ

「製品安全規格部会」

製品安全規格部会年4回部会を開催し、各国の安全規格・EMC規制・省エネルギー規制・無線規制等の情報交換を行う。

下記外部団体に参加して情報収集を行い、部会において各社に展開する。

- ・ JEITA マルチメディア EMC 専門委員会
- ・ JBMA 第108委員会
- ・ 電気用品調査委員会の電波雑音部会
- ・ 電気製品認証協議会

※電気用品安全法の要望の窓口となる参加団体については引き続き調査する。

「環境問題研究部会」

1. 化学物質規制・管理法関連
 - ・ EU RoHS, EU REACH
 - ・ CN RoHS
 - ・ TSCA, Proposition65
 - ・ EAEU RoHS, GSO RoHS など
 各国 RoHS の動向
2. 省エネルギー法関連
 - ・ EU ErP Lot 6
 - ・ 各国 EPS・待機電力規制
3. 廃棄物・リサイクル法関連
 - ・ 各国 WEEE
 - ・ 電池指令 (Li-ion リサイクル)
 - ・ 包装廃棄物関連 (廃プラ)
4. ホルムアルデヒドなど VOC 規制
 - ・ 各国の規制動向
5. その他
 - ・ 違法伐採・木材管理法関連, CITES
 - ・ 難燃材規制の動向
 - ・ サプライチェーンにおける情報伝達・管理
 - ・ RoHS 適用除外申請の動向

3 MIDI規格委員会

活動方針

○音楽や電子楽器に関する技術検討を行い、現状の問題解決及び新技術開発による将来の音楽事業発展に貢献する

活動計画

- MIDI2.0 部会の開催:
 - 隔月(4月、6月、8月、10月、12月、翌年2月)開催。
コロナウイルスの状況により、オンライン、オンサイト開催を検討。
 - 状況により、適宜、臨時部会を開催
- イベント共催および参加: 鋭意検討

事業計画

「MIDI2.0部会」

- MIDI Association M2 WG と協力し、下記の詳細仕様を検討、審議
 - Profile (Drawbar Organ Profile, Piano Profile を中心として検討)
 - Protocol (追加規格に適宜対応)
 - Property Exchange (追加規格に適宜対応)
 - その他、M2 WG からの依頼に応じて議論実施
- AMEI 内プロトタイプینگ継続、MIDI Association 側プロトとの連携視野に
- MIDI 2.0 の運用(ガイドライン、市場への展開等)検討
- MIDI2.0 規格書の日本語訳継続
- 新技術/新商品の評価、検討を通して音楽業界のニーズを探る

4 著作権・ソフト委員会

活動方針

1. 会員各社の事業運営における著作権に係る問題点等を解決すべく、関係団体と協力し権利者との協議や文化庁に対する要望申し入れ等を活発に行う。また、著作権法の改正を含む様々な環境変化の中で生じる不具合については、積極的に関係省庁、権利者、管理事業者等に問題提起を行う。
2. 定例会を通じ各部会それぞれが取り組んでいる課題と成果をタイムリーに情報共有しつつ、委員各位の意見を吸収し部会活動に反映させることにより、会員個々の事業の活性化と市場の発展に貢献する。

活動計画

委員会 定例会 10回(別表参照)、カラオケ部会 8回程度、音楽配信部会 15回程度
ソフト規格部会 6回程度、音楽電子出版部会 8回程度、TM-WG/MIDI-2.0部会(随時)
管理事業法研究 WG(随時)

事業計画

「カラオケ部会」

1. JASRAC との使用料規程第10節「業務用通信カラオケ」の改訂に関する継続協議
 - ・ 他の管理事業者が管理する楽曲の利用割合の反映に関する実務運用
 - ・ 非管理楽曲が使用されている実態を勘案した利用割合に関する協議
 - ・ その他、使用料規程の取扱いに関する協議

2. 管理事業者の使用料徴収の一元的集中管理等の検討
3. 株式会社 NexTone との使用料規程の改訂に関する継続協議
4. その他、業務用通信カラオケに関わる案件対応

〔音楽配信部会〕

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を著作権・ソフト委員会定例会の場にて実施すると共に、NMRC を通じ管理事業者との協議・関連団体との意見交換に反映させる。
2. NMRC 実務 WG を通じて、実務上の問題点解決にむけ、管理事業者、関連団体との意見交換を実施する。
3. 音楽配信部会での情報共有、意見の集約を積極的に行う。
4. スマートフォン関連コンテンツのビジネスや著作権についての意見交換を積極的に行う。
5. 関連部会や委員会との情報交換を密にし、部会での情報共有を行う。

〔ソフト規格部会〕

1. MIDI 及び音楽関連ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施。インターネットを始めとした新しいメディアにおける音楽電子事業の研究。
 - ・著作権重要判決、紛争例の研究
 - ・クラウドと音楽ビジネス、AI の動向と楽器への影響に関する研究
 - ・音楽教育を守る会と JASRAC との訴訟動向に関する研究
 - ・改正著作権法に関する研究
 - ・文化審議会著作権分科会の審議動向に関する研究
 - ・適正な音楽利用に関する研究（楽曲の権利判定、JASRAC 使用料規程など）
 - ・外国の著作権管理団体に関する研究
2. ワーキンググループによる諸問題の討議、検討、規格化と実践
 - ・楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する検討 WG (GCP-WG) の開催
 - ・メンバーニーズや話題性の高い議題に関する WG（海外ビジネス展開 WG）を開催。
3. その他、規格に関する問題、課題等の検討（随時）

〔音楽電子出版部会〕

1. 電子楽譜サービスに関わる問題点の情報交換・意見交換を音楽電子出版部会にて実施し、同サービスの著作権料率案の策定につなげる。
2. 音楽電子出版部会での情報共有、意見の集約を積極的に行う。
3. 関連部会や委員会との情報交換を密にし、部会での情報共有を行う。

令和 3 年度 AMEI 著作権・ソフト委員会定例会開催予定表

回号	開催予定日（案）	開催時間	備考
1	2021 年 04 月 08 日	13:30 ~ 15:00	
2	2021 年 05 月 13 日	13:30 ~ 15:00	
3	2021 年 06 月 10 日	13:30 ~ 15:00	
4	2021 年 07 月 08 日	13:30 ~ 15:00	
5	2021 年 09 月 09 日	13:30 ~ 15:00	
6	2021 年 10 月 07 日	13:30 ~ 15:00	
7	2021 年 11 月 11 日	13:30 ~ 15:00	
8	2021 年 12 月 09 日	15:30 ~ 17:00	懇親忘年会
9	2022 年 02 月 10 日	13:30 ~ 15:00	
10	2022 年 03 月 10 日	13:30 ~ 15:00	

*原則として、委員会は毎月第 2 木曜日とする。
 *1 月及び 8 月は原則開催しないが、前々月までの活動状況に応じて必要であれば開催する。
 会場は、特に新型コロナ感染対策が必要な間はオンライン開催とし、収束後は原則として AMEI 会議室（水道橋）とする。

〔MIDI2.0/TM-WG〕

- ・ソフト制作、著作権（許諾取得）の観点から、必要な規格、ルール作りへの提言を行う。
- ・商標の権利化、運用ガイドラインの策定を具体的に実行する。

〔管理事業法 WG〕

- ・著作権等管理事業法に係る諸問題について検討及び解決への取り組みについて研究継続

〔委員会共通〕

- ・早稲田大学創造理工学部連携講座の実施（秋期）

5 普及委員会

活動方針

MIDI 規格の正しい理解と普及を目的として、教育（MIDI 検定の実施継続）・普及（MIDI 規格委員会・会員各社との連携によるイベント等の実施）について、各委員会と連携し、計画・提案を行う。

事業計画

MIDI 検定事業

〔委員会開催予定〕

- 4 月開催：2021 年度活動内容の確認と対策
- 10 月開催：2021 年度 MIDI 検定 3 級、2 級 1 次筆記試験の応募状況と 2 級 2 次対策

〔2021 年度 MIDI 検定試験〕 オンライン試験の検討

- 「第 13 回 MIDI 検定 1 級試験」 2021 年 8 月実施
- 「第 24 回 MIDI 検定 3 級試験」 2021 年 12 月実施
- 「第 23 回 MIDI 検定 2 級 1 次（筆記）試験」 2021 年 12 月実施
- 「第 23 回 MIDI 検定 2 級 2 次試験」 2022 年 2 月実施

〔2021 年度指導者認定講座〕 オンライン講座の検討

- 「MIDI 検定 4 級指導者認定講座」 2021 年 5 月に開催
- 「MIDI 検定 3 級指導者認定講座」 2021 年 7 月に開催
- 「MIDI 検定 2 級指導者認定講座」 2021 年 9 月に開催

イベント事業

MIDI 規格委員会・広報委員会等と連携して、MIDI の普及イベントの計画・立案を行う。

6 広報委員会

活動方針

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

活動計画

- ・会報「AMEI News」編集会議 3 回（事務局との連携により推進）
- ・セキュリティ強化対策の検討会議 1 回
- ・サステナビリティ強化対策の検討会議 1 回

事業計画

1. 会報『AMEI News』の発行（事務局との連携により推進）
 - ・年 3 回（4 月、8 月、12 月予定）ホームページへの PDF ファイルの掲載
2. ホームページの充実（事務局との連携により推進）
3. セキュリティ、サステナビリティ強化対策の検討の実施（事務局との連携により推進）
 - ・個人情報保護対策の強化検討
 - ・クラウドサービスの可能性検討

AMEI 著作権・ソフト委員会の 歩みを振り返って

著作権・ソフト委員会 前委員長 三沢 洋一

AMEIは1976年に設立された全国電子電気楽器協会、80年代に設立されたMIDI規格連絡協議会、日本電子音楽ソフトウェア協会の三団体が母体となり、前身の音楽電子産業協会を経て、1996年に成立しました。

その'90年代は、前半で通信カラオケ、後半は携帯電話の着信メロディといったMIDI関連サービスが開発されました。一方、著作権の環境としては'97年の著作権法改正で公衆送信権が創設されたものの、許諾スキームは存在していませんでした。このような中、AMEIは当委員会中心となり、NMRCと共に日本音楽著作権協会（JASRAC）をはじめとする音楽の権利者と丁寧な交渉を続け、音楽のネットワーク配信における著作権許諾スキームを世界に先駆けて確立することに大きく貢献、前述の新サービスのビジネスとしての成功に結び付けました。



2000年代半ば以降、インターネットの高速化やスマートフォンの急速な普及とともに、リスニング用音楽配信は音声データが主流になり、同時にユーザーの音楽の聴き方やコンテンツの所有意識にも急激な変化が見られ、ダウンロードからストリーミング、従量課金からサブスクリプションへとニーズが移る中で、許諾条件の検討・整備を引き続き権利者等と進めてきました。また、著作権等管理事業法の成立、信託業法改正を経て2000年に発足した株式会社NextToneとも真摯な姿勢でその協議に取り組み、現在に至っております。

このように、音楽を届けるメディアの変化、機能向上といった技術的な変革に伴う許諾条件等の課題に主に対応して参りましたが、近年はAMEI全体としての大きな課題はなく、比較的穏やかな状況が続いていました。ところが、2020年以降の突然のコロナ禍は、それが長引く中で新たなユーザーニーズを生んでいます。特に、非接触による音楽の利用、たとえばネット上での楽器演奏、ライブ配信、電子楽譜等への関心は急激に高まり、これまで以上にスピード感をもって許諾スキームの整備が必要となると考えています。また、著作権ライセンス業務も、著作権管理事業者に加え、YouTube等の大手プラットフォームによる許諾システムの新たな動きに積極的に注目する必要があります。そして、新規格であるMIDI2.0が音楽電子事業の新たな活力となることを期待する中、それは同時に新たな著作権的課題を生むことが予想されますので、対応が必要となるでしょう。

以上、2017年より務めてまいりました当委員会の委員長職を退くにあたり、これまでの歩みを簡単に振り返り、今後の課題につき簡単にまとめました。末筆になりましたが、AMEIならびに会員企業の皆様、そして音楽電子事業の更なるご繁栄をお祈りしております。

著作権・ソフト委員会の歩みと今後の課題 附属年表

期	西暦	和暦	技術・製品/サービス(世相)	AMEI/ 業界団体	権利者動向/ 法的環境
音楽電子事業の黎明	1970年代	(昭和)	デジタル楽器誕生 8トラカラオケ オーディオブーム	AMEI 前身3団体設立 - 全国電子電気楽器協会('76) - MIDI規格連絡協議会('83) - 日本電子音楽ソフトウェア協会('88)	著作権法全面改正('70)
	1980年代		LD('81) CD('82) 日本発売 ファミリーコンピューター('83) 業務用CD・LDカラオケシステム発売 ソフトベンダTAKERU('86)	日本語版MIDI1.0規格発表('83)	
音楽配信ビジネス前夜	1990~1995	平成2~7	インターネット商用解放('92) WINDOWS95 ポケベル・PHS 通信カラオケ機器発売	音楽電子産業協会設立('94)	
着メロ/通カラの立上げ・急成長	1996	平成8	DVDプレーヤー販売開始(日本) Muma稼働開始('96)	AMEI設立 業務用通信カラオケ使用料:過去分の使用料の算定基準と精算の暫定合意(JASRAC)	WIPO新条約採択(WCT/WPPT)
	1997	平成9		NMRC設立 「業務用通信カラオケにおけるJASRAC管理著作物利用に関する合意書」締結	著作権法改正 公衆送信権創設
	1998	平成10	着メロサービスイン		DMCA(米)成立
	1999	平成11	P2P/Napstar iMode開始	MIDIがJISで制定される MIDI検定開始	
	2000	平成12		著作権・ソフト委員会発足(2委員会合併) 株式会社イーライセンス設立 株式会社ジャパン・ライツ・クリアランス(JRC)設立	著作権等管理事業法成立 インタラクティブ配信使用料規程認可(JASRAC)
	2001	平成13	レコチョク設立 JASRACインタラクティブ配信使用料ピーク	GMLite発表	
	2002	平成14	着うたスタート CCCD日本で販売		著作権等管理事業法:運用開始 9月BGM管理開始 eLicense/JRC/ダイキサウンド 各社業務開始
通信の高速化とコンテンツのリッチ化	2003	平成15	米iTunes Music Store日本サービスイン	AMCP設立	
	2004	平成16	着うたフル サービスイン		ACA訴訟提起 信託業法改正(知財権も対象に)
	2005	平成17	iTunes Store日本サービスイン YouTube開始		
	2006	平成18	Napster日本サービスイン	NMRC事務局業務をAMEIが受託	
	2007	平成19	Amazon Prime日本サービスイン		JASRAC-KOMCA相互管理契約締結
	2008	平成20	iPhone3G日本発売		JASRAC-YouTube包括契約
	2009	平成21		CDC設立	
	2010	平成22	Napster日本終了		ACA訴訟一審判決
定額配信ビジネスの浸透と法的環境の変革	2011	平成23	YouTube Live開始		アクセスコントロール回避ソフト 違法化(不競法改正)
	2012	平成24			「柔軟な権利制限規程」議論本格開始 ACA訴訟控訴審判決
	2013	平成25	定額聴き放題サービス開始		
	2014	平成26	hulu日本で本格展開		
	2015	平成27	Apple Music Netflix日本サービスイン		
	2016	平成28	ハイレゾ音源DL、着うた終了 Spotify日本サービスイン	イーライセンスとJRCが統合し NexTone設立	
	2017	平成29		MIDIがIEC国際標準規格に認定される	音楽教室(演奏権)訴訟提起
	2018	平成30			TPP整備法で著作権保護期間が70年に延長 著作権法:柔軟な権利制限規程の拡充進む
	2019	平成31/令和1	COVID-19	MIDI2.0 開発・規格化発表	
	2020	令和2	コロナ禍で非接触・遠隔化する	MIDI2.0リリース	音楽教室訴訟一審判決~控訴へ
2021	令和3			音楽教室訴訟二審判決~上告へ	

備考 NMRC ネットワーク音楽著作権連絡協議会
 AMCP 音楽関連モバイルコンテンツ事業者協議会
 CDC 一般社団法人 著作権情報集中処理機構
 KOMCA 韓国音楽著作権協会

お見舞い
 一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆さまのご健康を
 心よりお祈り申し上げます。

会員名簿

50音順 2021年3月2日現在

あ	す	や
<ul style="list-style-type: none"> AlphaTheta 株式会社 Apple Japan 合同会社 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ズーム 株式会社鈴木楽器製作所 株式会社ストーンシステム 株式会社スリック 	<ul style="list-style-type: none"> ヤマハ株式会社 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメント ホールディングス
い	た	ゆ
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社インターネット 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社第一興商 	<ul style="list-style-type: none"> universe 株式会社
え	て	ろ
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社エクシング 	<ul style="list-style-type: none"> 大日本印刷株式会社 出版イノベーション事業部 ティアック株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> ローランド株式会社 <p>〈正会員会社 27 社〉</p>
か	な	* 賛助会員
<ul style="list-style-type: none"> カシオ計算機株式会社 株式会社河合楽器製作所 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社 nana music 	<ul style="list-style-type: none"> 中音公司 (中華人民共和国) 株式会社博秀工芸 株式会社ミュージックトレード社 株式会社リットーミュージック
く	は	
<ul style="list-style-type: none"> クリプトン・フューチャー・メディア株式会社 クリムゾンテクノロジー株式会社 	<ul style="list-style-type: none"> バイオニア株式会社 	
こ	ふ	
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社コルグ 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社フェイス 株式会社ぶらあぼホールディングス 	<p>〈賛助会員会社 4 社〉</p>
し		
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社シーミュージック 学校法人尚美学園 株式会社シンクパワー 		



令和3年度
「MIDI検定」
●ミュージッククリエイターのための認定制度



受験案内

団体試験 令和3年12月5日(日) 団体会場
 3級試験PM1:30~PM2:30
 2級1次試験PM3:00~PM4:30

一般試験 令和3年12月5日(日) オンライン試験
 3級試験PM1:30~PM2:30
 2級1次試験PM4:00~PM5:30

期間 2021・9/15(水)~10/31(日)

一般社団法人音楽電子事業協会
第10回通常総会議事録の開示について

AMEIホームページ <http://www.amei.or.jp/>の会員専用ページ
 会員専用ページへのアクセスはID及びパスワードの入力が必要です。
 お忘れの方はE-mailにて対応致します。

- 送付先: amei_info@amei.or.jp
- お名前、E-mail アドレス、会社名、所属、TEL、FAX を記入の上、お申込み下さい。

AMEI NEWS Vol.75 / 2021.9.21
 一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌
 発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局
 〒101-0061
 東京都千代田区神田三崎町 2-16-9 イトービル 4F
 TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549

発行人：水野 滋
 編集人：石黒士郎 (広報委員会)
 編集協力：株式会社 博秀工芸
 ホームページアドレス：
<http://www.amei.or.jp/>

